



かっぱ新聞

第118号

令和7年5月吉日

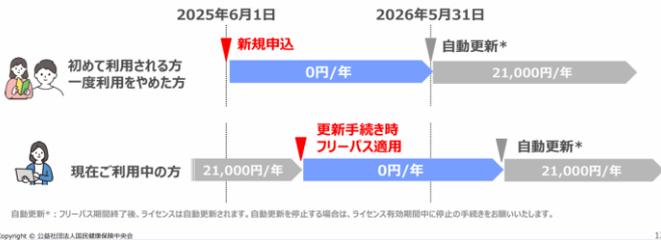
今回はケアプランデータ連携システムのフリーパスキャンペーンの開始と、障害福祉の訪問系サービスのサービスコード修正に伴う過不足額調整についてのご紹介です。

【ケアプランデータ連携システムのフリーパスキャンペーン開始】

6月1日よりケアプランデータ連携システムのフリーパスキャンペーンが始まります。期間中に申請すると1年間無料でケアプランデータ連携システムを利用することができます。また、5月16日(金)13:30よりYouTubeライブにてフリーパスキャンペーン直前導入セミナーが開催される予定です。セミナーは後日アーカイブ動画で視聴することも可能です。

申請スケジュール

初めてご利用される方は、6月1日からフリーパス申請が可能となります。
現在ご利用中の方は、現行ライセンスの更新時にフリーパスキャンペーンが適用されます。



【フリーパスキャンペーン直前導入セミナー】

キャンペーンの申請方法やシステムの導入手順などを一つ一つ丁寧に説明するセミナーになります。当日の内容は後日アーカイブ動画としてYouTubeチャンネルから視聴可能です。

- 日時：2025年5月16日(金)13:30~14:30
- 実施方法：YouTubeライブ（申込不要）
- 対象：全ての介護事業所様・介護関連団体・自治体等

[YoutubeライブURL]

<https://www.youtube.com/live/UPHxGkRKdiA>



【（障害福祉 訪問系サービス）サービスコードの修正に伴う支払額の調整について】

厚労省より令和6年度改正時のサービスコードが報酬告示と一部異なる単位数だったため、サービスコードを修正する旨の告知が発出されています。これに伴い、電子請求受付システムより各事業所様へサービスコードの修正に伴う過去分調整額のお知らせが送られます。このお知らせは令和6年4月~令和7年5月の間に報酬支払額に過不足が発生していた場合の調整額を通知するためのものです。お知らせに調整額が記載されていた場合、下記記載例のように、事業所様は7月請求時に請求明細書にお知らせ記載の調整額を記入して請求する必要があります。介五郎は6月中のバージョンアップにて対応予定です。

（請求明細書への過去分調整額の記載例）

記載例）居宅介護の場合

- ①（過去分調整と別内容のため省略）
- ②過去分調整額の請求は、過去分調整額請求用の専用のサービスコードを用いる。
- ③単位数には国保連合会が通知した単位数を設定する。当月請求の「基本報酬に係る減算や処遇改善加算等」の計算の対象には含まないことに注意すること。
- ④回数は「1」固定。
- ⑤国保連合会が通知した単位数と異なる単位数で請求する必要がある場合、「摘要」欄に50文字以内で理由を記載する。

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	摘要
身体日4.0	1111391004	6	6	6024	
身体日2.0・夜1.0	111475879	4	4	3516	
身体夜増1.0	111935208	2	2	416	
身体夜増1.0(補正)	11J109209	4	4	836	
居宅処遇改善加算Ⅱ	1161011000	1	1	1000	
居宅介護支払調整(不足分)	11Z203140	1	1	140	○月サービス提供分の通話再請求に伴い、正しい単位数に変更

【参考】詳細は下記の厚労省ホームページ掲載の各資料をお読みください。

「過去分調整額等の請求方法についての記載」 <https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001391331.pdf>

「報酬算定構造・サービスコード表等」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000174644_00018.html

営業グループ 篠塚 英一

お花見の季節もおわりアツと言う間に夏がきます。歳を重ねると1年1年が本当に早いと先人の言葉が身に染みます(ノド)ツツカ…季節の変わり目です。皆様お身体ご自愛くださいませ。